

第8回文学散歩「銀河鉄道の夜」はいつ、どこで？ H26. 10. 4

江刺総合支所～宮沢賢治記念館～めがね橋 (SL) ～鱒沢駅～五輪峠～(五輪塔)～人首町(人首文庫)～
旧水沢緯度観測所～江刺総合支所

天気良好 11名

道案内人佐伯研二氏。展勝地経由で出発。途中北上川のイギリス海岸と同じような景観を眺め、「注文の多い料理店」のモデルになったと言われている場所などいつもの軽妙なトークでお話を聞きながら賢治記念館へ。記念館ではテーマ展等を見て、童話村へ。



童話村からSLメインのめがね橋へ。ところが記念館を降りて行くと、なんと目の前にSLが。沿線の至る所にSLファンがSLを撮るためのカメラ、カメラ。

めがね橋にも多くのカメラマンが。ここで米里産直名物のおにぎりで昼食。そして、めがね橋を渡るSLを待つ。力強いSLの姿に大歓声があがる！約束は合図をしたらカメラを見る約束は・・・。写真を撮るのに夢中！



五輪峠で五輪の塔についてお話を聞く。胆江日日新聞社の宮本さんが取材でわざわざ五輪峠まで来てくれました。新聞記者も大変ですね。ご苦労さま！佐伯さんがここは熱く語っていた。霞んでいたが、胆沢平野が眼下に見えた。ここから緯度観測所が見えるとそうだ。必ずカメラに収めたい。

いつもなら旧五輪街道を歩いて、麓の大内沢を散策するのだが、今回はバスで。ここも賢治作品の原風景が保存されている。



昭和30年過ぎにここに移された。馬洗淵付近

ここから旧緯度観測所が見えるらしい

午後1時半頃、人首町に到着。案内人のお宅佐伯邸で休憩。奥さんがコーヒーを準備してくれました。いつものことながらありがたい。多謝！有名な作家等の書簡類が展示してある「人首文庫」を見学。展示物に驚いていた。なぜ、ここにあの有名な作家の書簡が・・・・ 春の佐伯邸



最終行程 旧水沢緯度観測所(現奥州宇宙遊学館)で大江昌嗣先生のお話を聞く。「賢治と緯度観測所」いつ聞いても深いお話。ILGの出前授業等で忙しい中、時間を割いてお話を。ありがたいことだ。妹トシが彼の作品の中に、色々な形で触れられていることが分かった。納得！多謝！大江先生、ありがとう！

